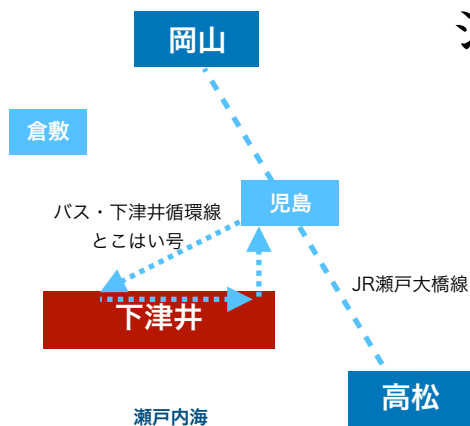


下津井は倉敷市の南端、瀬戸大橋の真下にある小さな漁村。江戸時代に北海道から「にしん粕（かす）」を積んできた北前船の寄港地として賑わいました。にしんから油をとり、道ではそれだけしか価値をみませんが、油を絞った粕は本州にもっていけば貴重な肥料になりました。児島は江戸時代から干拓が進み、塩分の残る土地で植えられたのが綿花。綿花は大量の肥料が必要で、にしん粕がそれが補い、綿花は児島を繊維の町に仕立て上げました。明治・大正時代は足袋、昭和では学生服、そして1965年にマルオ被服（現ビッグジョン）が国産ジーンズ第一号を発売したのを皮切りに、今では30以上のメーカーが本社を構える、ジーンズの聖地となりました。一方、1991年に廃線となった下津井電鉄ですが、駅跡にはレトロな列車が今もみれ、線路を遊歩道にした「風の道」がつくられています。つまり鉄道マニアにとって児島・下津井は聖地なのです。

岡山から30分の「ついでの旅」



岡山と四国の高松を結んでいるJR瀬戸大橋線の児島まで、マリンライナーまたは特急で20数分。高松から児島は30数分。そこからバス・下津井循環線とこはい号で下津井港まで15分。但しバスは1時間に1本しかない。下津井港から街歩きをして、再びとこはい号で児島に戻る。

ジーンズの児島、タコの下津井 児島・下津井

岡山で「ついで散歩」といえば「倉敷」で間違いはありませんが、それはそれとして、ちょっと渋いところに出掛けてみましょう。

瀬戸大橋の袂にある明るい漁村・下津井は往時には北前船が港を埋め尽くしたほどの賑わいをみせ、名物タコ料理と、蝦夷からもちこまれ下津井節で知られます。

港には商家が蔵を並べ、今でも路地に入れば古い家並みがありますが、疲れていて空家や空地が目立ちます。それでも海辺の自然歩道は心地よく、「むかし下津井回船問屋」で歴史を知り、名物のタコ料理を食べれば充実した散歩気分。加えて児島でジーンズ横町と塩田で財をなした野崎家の旧住宅を見学すれば満腹でクタクタ。

鉄道マニアだったら旧下津井電鉄の駅跡と遊歩道「風の道」散歩を。鉄道マニアでなければ、復りに鷺羽山展望台に立ち寄って瀬戸大橋の勇姿と穏やかな瀬戸内海を臨むのもよし。でもバスは1時間に1本しかありません…。

下津井の歩き方

下津井港前で下車して「旧下津井電鉄駅跡」をみながら、散歩をはじめましょう。

再びバス停に戻ってから大通りではなく、路地に入っていくと往時を偲ぶ古い家を見つけることができます。

祇園神社周辺は瀬戸内海の島々と瀬戸大橋を眺めながらの気持ちよい自然歩道。祇園神社の急な階段を上ると絶景が待っています。

下津井のメインは祇園神社から四柱神社までの通りで、下津井の歴史をしっかりとみせてくれる「むかし下津井海鮮問屋」があり、手前に名物たこ料理「保乃家」があります。

歴史を勉強して、たこ料理を食べながら更に路地を行けば銘菓・磯乃羊羹の田中花正堂があり、更に行けば四柱神社があつて、急過ぎる階段に登る気が失せるか頑張るか・・・。



下電バス・とこはい号

児島から下津井まではバスが循環しています。その名も「とこはい号」。駅前バス乗り場4番。児島駅から下津井港まで約15分。8:30から1時間に1本で30分発。バスの中で一日券510円を買えば便利だし、鷺羽山展望台に寄れば格安。児島の旧野崎家住宅入場料も100円割引されます。



① 旧下津井電鉄駅跡

瀬戸大橋の開通などで存在意義を薄くした下津井電鉄は1991年に廃線。でも下津井みなと電車保存会などの頑張りで駅跡にはレトロな列車が今もみれ、線路を遊歩道にした「風の道」は児島までの6.3km歩けます。※児島駅でレンタサイクル (300円、電動500円) が借りられます。

② 祇園神社

海に突き出す岬の丘の上にあり、下津井の祇園さまが鎮座します。北前船の船主らが航海の安全を祈願したといいます。急な階段なので登るのは大変ですが、静かな境内から瀬戸大橋や港が一望できます。

③ たこ料理の店 保乃家

潮流の速い下津井の海で育ったタコは、身が締まった最高の味といわれます。その下津井で最初のたこ料理専門店が保乃家。コースは6000円でビビルが、たこ刺し+たこ飯+たこつみれ汁で3400円。どれも充実した内容でした。

④ むかし下津井海鮮問屋

北前船で賑わった往時の町の様子を紹介しています。旧い商家の建物を復元して生活をみせる他、映像や模型で町の様子を紹介。敷地内にはショップとレストランが併設されています。

⑤ 磯乃羊羹本舗 田中花正堂

明治43年創業で、磯乃羊羹は鮮やかな緑色で青のりが香る磯の味。ふるさと最中は注文後に餡を詰めるので、お土産するには予約が必要。

⑥ 四柱神社 (よつはしら)

映画「ひるね姫」のロケ地になったとか。住吉三神に息長帯姫命を合わせた四神は海を司る神様であることから港町下津井の鎮守として祭られ、四柱神社と名付けられました。とにかく急な階段で、猛暑でぐったりの私は登るのを諦めました。でも後で上から臨む瀬戸大橋の素晴らしさを知って後悔しています。



児島では・・・

児島では、駅からジーンズストリートまで15分歩いて・・・その先にある旧野崎家住宅を見学。塩田で大儲けした野崎家の家は見応えがあります。野崎家の塩は今では味の素のアジシオ等で使われ、日本全体の20%のシェアだとか。建物はよいので建築屋には必見。

一泊するなら

宿泊は不要だし。ここぞという宿もなさそう。